

令和6年

壱岐市議会定例会2月第2回会議

# 行政報告

壱岐市

## 目 次

<b>1. はじめに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1) 脱炭素チャレンジカップ2024環境大臣賞グランプリ受賞について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 壱岐市自治基本条例の見直し及び検証作業について・・・・・・・・	3
(3) 壱岐特別職報酬等審議会について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(4) 壱岐市長特別表彰について・・・・・・・・・・・・・・・・	5
<b>2. 交流人口の拡大</b>	
(1) 観光振興について・・・・・・・・・・・・・・・・	5
<b>3. 産業の振興</b>	
(1) 農業の振興について・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(2) 水産業の振興について・・・・・・・・・・・・・・・・	8
(3) 港湾・漁港について・・・・・・・・・・・・・・・・	10
<b>4. 市民</b>	
(1) (仮称)壱岐市こども計画について・・・・・・・・	11
(2) 保育所運営のあり方について・・・・・・・・	11
(3) 国民健康保険について・・・・・・・・	12
(4) 後期高齢者医療制度について・・・・・・・・	13
(5) 介護保険について・・・・・・・・	13
<b>5. 教育</b>	
(1) いきっこ留学制度について・・・・・・・・	14
(2) 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭について・	15
(3) 子どもたちの活躍について・・・・・・・・	15
<b>6. 防災、消防・救急</b>	
(1) 防災対策について・・・・・・・・	16
(2) 消防・救急について・・・・・・・・	16
<b>7. 議案説明</b>	
(1) 令和6年度予算について・・・・・・・・	17
(2) その他の議案について・・・・・・・・	18
<b>8. おわりに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	18

# 行政報告

令和6年壱岐市議会定例会2月第2回会議

## 1. はじめに

本日ここに、令和6年壱岐市議会定例会2月第2回会議の開催にあたり、令和6年度当初予算案、市政の重要事項等について、その概要をご説明申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、来る3月1日、本市は合併20周年を迎えることから、壱岐の島ホールにおいて壱岐市市制施行20周年記念式典を挙行いたします。この記念の節目を、議員各位をはじめ市民皆様とともに迎えることができますことに、深い喜びを感じております。

市制施行以来、市民皆様のご理解とご協力をいただきながら、壱岐市の未来に繋がる各種の事業及び施策に取り組んできた結果、壱岐市政は着実に発展しているところであります。私の任期も残すところ1月半となりましたが、新しい世代に「住み続けられる壱岐」を引き継ぎ、「誰一人取り残さない協働のまちづくり」を実現するため、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、12月会議以降、本日までの市政の重要事項等についてご報告申し上げます。

## (1) 脱炭素チャレンジカップ2024環境大臣賞グランプリ受賞 について

去る2月6日に開催されました脱炭素チャレンジカップ2024において、本市がエントリーした「『再エネとグリーン水素で目指せ！脱炭素の島』実現プロジェクト」が、最高賞である「環境大臣賞グランプリ」及びウェブ投票により選ばれる「マクドナルドオーディエンス賞」をダブル受賞いたしました。

脱炭素チャレンジカップとは、学校・団体・企業・自治体等の多様な主体が展開している脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、書類審査及びプレゼンテーション審査を行い、優れた取組を表彰している全国大会であります。

本市がエントリーした取組は、再エネとグリーン水素による発電でCO<sub>2</sub>排出量を削減するだけでなく、水の電気分解で発生する副産物の酸素や機器からの排熱も無駄なく利用して養殖魚の育成効果を高め、地場産業の活性化にもつなげるチャレンジであります。なお、グリーン水素とは、再生可能エネルギーを使用して作られた地球環境に優しいクリーンな水素を指しております。

審査委員長である東京大学の<sup>えもり せいた</sup>江守 正多 教授からは講評の中で、本市がいわゆる“ファーストペンギン”として気候非常事態宣言、グリーン水素の活用等、果敢に挑戦していることに言及がありました。今回の受賞は、エントリーテーマの取組をはじめ、気候非常事態宣言を含めた本市の脱炭素に向けた姿勢そのものを高く評価いただいた結果であると感じております。

地球沸騰化とも言われる時代にあって、脱炭素の実現が喫緊の課

題でありつづける中で、本市の取組が国内外へ波及するため、この取組を着実に継続してまいります。

## **(2) 壱岐市自治基本条例の見直し及び検証作業について**

壱岐市自治基本条例は、人口減少及び少子高齢化が進む中で、活力ある市民生活を維持、向上させる社会を目指し、「市民を主体としたまちづくりの実現を図ること」を目的として平成30年12月に施行いたしました。

今回、本条例第30条に基づき、第3次壱岐市総合計画の見直しに合わせて条例の見直し及び検証作業を行うこととし、各地区及び各種団体の代表、市民公募等により構成された総勢30名の委員による壱岐市自治基本条例審議会において幅広いご意見を賜りました。昨年7月から12月にかけて審議会を4回、専門部会を6回開催し、「社会情勢の変化に対応した規定となっているか」、「条例が活用されているか」等の内容を中心にご審議いただきました。

その後、本年1月から2月にかけてパブリックコメントを実施し、市民皆様からのご意見について第5回審議会で協議の上、去る2月9日に答申をいただきました。

本答申を受け、今回、壱岐市自治基本条例の一部改正について、議案を提出しております。

今回の見直し及び検証作業を契機として、広く自治基本条例の周知を図るとともに、少子高齢化・人口減少による様々な課題等に対応していくため、「市民を主体としたまちづくりの実現」に向けて各種施策に取り組んでまいります。

## **(3) 壱岐市特別職報酬等審議会について**

議会議員等の議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給与の

額に関することについて審議するため、昨年12月21日に、市内の公共的団体等の代表者並びに市民代表の方々に構成する壱岐市特別職報酬等審議会へ諮問を行い、合計3回の審議会を経て慎重にご審議いただき、去る2月6日に答申をいただいたところであります。

本審議会では、他の類似自治体と比較しても本市の特別職、市議会議員の報酬等は最低水準であること、平成17年度以降改定がなされておらず、その間、民間事業者の最低賃金も上昇を続け、物価も高騰していることなど、本市を取り巻く情勢等を考慮するとともに、その職務と職責に見合う報酬が必要であること、人材確保にもつながることを期待するなどの意見が出され、委員全員が増額改定は必要であるという一致した認識の下、総合的な判断がなされました。結果、議員については、月額15,000円乃至20,000円のアップ、市長等特別職については、月額28,000円乃至35,000円のアップとし、実施時期は令和6年4月1日からとする答申をいただいております。

本答申を十分尊重し熟慮を重ね、議員については、答申どおり、月額15,000円乃至20,000円のアップとし、令和6年4月1日を実施時期として、壱岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について、今回、議案を提出しております。一方で、市長等特別職の給料については、県内で低い水準にはあるものの、同規模市の報酬額等を総合的に判断した結果、月額16,000円乃至20,000円のアップとし、令和6年4月1日を実施時期として、壱岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例

の一部改正について、今回、議案を提出しております。

答申の中では、報酬等の改定にあたり、壱岐市活性化のため、さらなる活躍を期待するという意見が付記されており、今後も、議会とともに、本市の振興発展に全力で取り組んでまいります。

#### (4) 壱岐市長特別表彰について

去る2月22日、本年度の壱岐市長特別表彰として、第39回全国小学生陸上競技交流大会の なかた しずき 中田 靖稀 さん、NPBガールズトーナメント2023全日本女子学童軟式野球大会の とよさか ちこ 豊坂 茅湖 さん、ながおか ましろ 長岡 眞白 さん、第19回都道府県対抗全日本中学生男子ソフトボール大会の いもと こうた 井本 康太 さん、はまだ りゅうせい 浜田 竜成 さん、かせだ りくう 加勢田 莉空 さん、たけした えいたろう 竹下 瑛汰郎 さん、第7回P i a - C o n ピ ア コ ン ピアノコンクールディア全国大会の いしもと かほ 石元 花歩 さん、第47回全国高等学校総合文化祭の やすなが ななみ 安永 七海 さん、第35回全国健康福祉祭えひめ大会の くぼ ひろたか 久保 博敬 さん、しのはら みちこ 篠原 美智子 さん を表彰いたしました。受賞された皆様に心からお慶び申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍を期待いたします。

## 2. 交流人口の拡大

### (1) 観光振興について

新型コロナウイルス感染症の5類移行により行動制限がなくなり、長期化したコロナ禍の影響により大打撃を受けた観光業において、需要回復の明るい兆しが見えつつあります。

本市への観光客数を推計する上で、重要な指標である九州郵船とオリエンタルエアブリッジの乗降客数は601,720人、対前年比

121.8%、コロナ禍前の令和元年と比較しますと、未だ82.0%となっています。

この数字が示すように、コロナ禍で激減した観光需要は徐々に回復傾向であり、壱岐市プレミアム付き宿泊券発行事業、壱岐市・対馬市周遊ツアー送客支援事業など本市独自の観光需要喚起対策等の実施効果によるものと考えております。

このことから、引き続き対馬市との連携による団体ツアーの誘致獲得に向けた壱岐・対馬周遊ツアー送客支援事業、本市への送客支援事業である長崎しま旅促進事業等、即効性の高い施策に積極的に取り組み、観光需要回復に努めてまいります。

実業団等のスポーツ合宿誘致については、1月に本市出身の<sup>はまだ</sup>濱田<sup>せいじ</sup>征司 監督率いる「YKK陸上長距離部」、2月に「大東文化大学陸上競技部」、「駿河台大学陸上競技部」、3月に「富士山の銘水陸上競技部」、「安川電機陸上部」の名門5チームの合宿が実現し、選手をはじめ監督・コーチなどチーム関係者93名にお越しいただき、延べ741名が本市に宿泊されることとなります。合宿期間中には市内小中学生等を対象としたクリニックの開催等により、一流に学ぶ素晴らしい機会をいただき、子どもたちの競技力の向上にもご支援いただいております。選手及びスタッフの皆様からは、合宿地として高評価をいただいております。今後も引き続き積極的なスポーツ合宿誘致に努めてまいります。

また、本年4月から6月にかけて、「福岡・大分デスティネーションキャンペーン2024年度春」が開催されますが、JR西日本の



特段のご配慮により、福岡・大分に加え本市も重点送客地域との決定がなされました。本キャンペーンは関西方面より多くの観光客が見込まれる国内最大級のキャンペーンでありますので、官民一体となって交流人口の拡大、誘客活動を積極的に行ってまいります。

### **3. 産業の振興**

#### **(1) 農業の振興について**

農業については、水稻及び肉用牛を主体に、施設園芸、葉たばこ、露地野菜及び花き類の産地化に取り組んでいるところであり、地域の担い手への農地利用集積を進め、集落営農により農業の維持・発展を図ることとしております。

担い手対策については、地域の中心となる経営体として、現在、認定農業者279経営体、法人50経営体、集落営農法人31組織となっております。効率的な農地利用を行うため、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を令和7年3月末までに策定することとしており、その実現に向けて、地域農業の担い手となる新規就農者、認定農業者及び集落営農組織等、多様な担い手の確保に努めるとともに、農地の利用集積及び農業経営の規模拡大等に適応したスマート農業を取り入れる等、経営安定に向けた取組を進めてまいります。

施設園芸について、複合部門の重要な作物である野菜、花き、果樹等は、高生産及び高収益が期待できる作物であり、特にアスパラガスについては、令和5年度平均反収2,571kgと17年連続

県下トップの成績を維持しており、今後も収益性の向上、高品質及び安定生産の確立を図ってまいります。

畜産振興については、壱岐生まれ壱岐育ちとして地域商標登録された「壱岐牛」は市場でも高い評価を得ており、今後も確固たるブランド構築を目指して情報発信及びPRに努め、優良系統牛への更新、増頭及び肥育素牛の導入支援を継続して行うとともに、農業生産価格の高騰対策等の支援を引き続き行ってまいります。

そのような中、2月に開催された子牛市では、平均価格が12月子牛市より約1万円安の54万6千円となりましたが、県下の他市場よりも高値の取引となっております。

土地基盤整備事業については、木田地区において整備面積23.3haを農地中間管理機構へ農地の集積を行い、受益者負担を伴わない新たな基盤整備事業の県内第1号として、令和3年度から区画整備工事に着工しており、大区画化された農地での高収益作物への転換による所得向上及び経営体の体質強化を図ってまいります。

## **(2) 水産業の振興について**

令和5年4月から令和6年1月までの市全体の漁獲量及び漁獲高を前年と比較いたしますと、漁獲量は1,518トンで9.9%減、漁獲高は20億2千万円で1.6%増と漁獲量は減少しておりますが、漁獲高は増加しております。5月から6月にかけて大型マグロが約70トン漁獲されたものの、年間を通してイカ類の漁獲減少をはじめ、他の魚類の不漁等が漁業者及び漁協の経営に深刻な影響を与えており、本市の水産業を取り巻く環境は、磯焼けによる藻場の

消失をはじめ、生産コストの高止まり、漁業者の高齢化並びに後継者不足など、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、漁業用燃油については、原油価格の高騰に伴い、市内漁協の漁業用燃油単価が高騰し、漁業者の経営を圧迫していることから、漁業者の経営維持及び本市水産業の維持・存続を目的とした支援策として、漁業用燃油1リットル当たり10円の補助を継続することとし、所要の予算を計上しております。

水産業の振興を図るため、市単独事業としては、本市水産業の重点課題と捉えている磯焼け対策をさらに強化するため、壱岐市磯焼け対策協議会を中心に積極的な取組を進めておりますが、特に本年度から取り組んでいるブルーカーボンクレジット認証及び販売について、強力に推進してまいります。

また、意欲ある担い手の育成支援事業として行う認定漁業者制度の実施、漁業近代化資金等制度資金の利子補給、漁獲共済・漁船保険の掛金への助成、漁船漁業の機器設備の充実を図るため漁船近代化機器導入への助成、密漁による被害を防止するための監視活動に対する助成等、水産振興施策を引き続き実施してまいります。

国・県の事業としては、離島輸送コスト支援事業、離島漁業再生支援交付金、特定有人国境離島漁村支援交付金及び若年層の着業を促進する漁業就業者確保育成総合対策事業に取り組んでおります。

栽培漁業については、壱岐栽培センターを活用し、漁業者の所得の安定、向上を図るため、本市周辺海域の実情に即し、効果的な種苗の生産・放流を行い、水産資源の維持・回復に取り組んでまいり

ます。また、壱岐栽培センターは県水産部からホンダワラ類種苗生産を受託しており、海藻に関する知見も豊富であることから磯焼け対策の技術支援拠点として位置づけることにより、効果的な藻場の早期回復に取り組むとともに、九州大学と共同で実施している焼酎粕等を餌としたアカウニの養殖実験についても引き続き取組を進め、実用化を目指してまいります。

### **(3) 港湾・漁港について**

市営漁港整備については、漁港施設機能の充実及び利便性の向上を図るため、初山漁港初瀬地区の防風柵設置のための突堤及び岸壁取付整備に係る費用を計上しております。また、海岸保全施設の長寿命化を図るため、老朽化調査に基づき、箱崎前浦漁港海岸恵美須地区護岸の補修に係る費用を計上しております。

港湾・県営漁港整備について、郷ノ浦港整備については、県が実施する浮棧橋等整備が令和6年度末に完成予定となっており、同時にターミナル、駐車場等の再編整備を進め、供用開始ができるよう、ターミナルビル改修及び駐車場等整備に係る費用を計上しております。

勝本港整備については、埋立土搬入後の沈下待ちの期間に必要な維持管理に係る費用を計上しております。

芦辺漁港整備については、本年4月の供用開始に向け、県及び九州郵船株式会社と連携し、施設整備等を進めており、駐車場及び臨港道路については、芦辺港ターミナル周辺整備検討委員会から提出された整備計画案に基づき、警察への協議中でありますので、協議完

了及び配置計画等が決定次第、年次整備計画を見直すこととしており、それに伴う駐車場等の整備を進めるための費用を計上しております。

## 4. 市民

### (1) (仮称) 壱岐市こども計画について

現在の「第2期子ども・子育て支援事業計画」の計画期間は、令和6年度に最終年度を迎えることから、令和7年度から11年度までを計画期間とする「第3期子ども・子育て支援事業計画」を策定することとしております。

また、昨年4月の「こども基本法」の施行に伴い、こどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を社会の真ん中に据えて、進めていくことが定められました。

具体的には、「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定と併せて「子どもの貧困対策」、「子ども・若者の育成支援対策」、「少子化対策」の3つの重点項目を含めた事業計画の策定が求められることとなることから、これらの支援事業計画を総合的かつ一体的に行うため、令和6年度に第3期子ども・子育て支援事業計画と併せて、(仮称) 壱岐市こども計画の策定業務に着手してまいります。

### (2) 保育所運営のあり方について

第3次壱岐市総合計画及び壱岐市子ども・子育て支援事業計画等を基本に進めてまいりました保育所運営について、本年3月末をもって渡良・沼津・初山のへき地保育所3園の閉所を行うことで調整

ができております。残る柳田・志原のへき地保育所についても、令和6年度末をもって2園の閉所手続を行うことで調整を進めておりますが、志原保育所については入所調整の結果、令和6年4月から休所措置となります。

今後も、健全な保育所運営と、より良い保育サービスの提供体制の整備のため、旧4町1か所ずつの認定こども園の開設に向けて、市民皆様のご理解とご協力を賜りながら進めてまいります。

### **(3) 国民健康保険について**

国民健康保険については、少子高齢化、団塊世代の後期高齢者医療への移行、社会保険の適用拡大等に伴う被保険者数の減少による保険税収入の減少等、大変厳しい状況が続いております。

平成30年度から県に財政運営責任等が移行され、市町は地域住民皆様と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を担っております。

国民健康保険税として徴収し、県に納付する国民健康保険事業費納付金及び市が支払う医療費に対する県からの保険給付費等交付金の所要額の通知を受け、令和6年度の予算編成を行ったところであります。これまで決算補填の財源としていた国保財政調整基金が令和5年度をもって枯渇する見込みであることから、令和6年度保険税率の改定について、被保険者の皆様にご負担をお願いしなければならない状況となっております。改定の時期については、令和5年分所得税確定申告及び令和6年度国民健康保険税申告が終了し、所

得が確定した後に税率改定を行う予定であります。

国民皆保険制度を支える国民健康保険の財政安定化のため、滞納処分を含めた収納対策に取り組み、引き続き、収納率の向上に努めるとともに、特定健診受診率の向上、特定保健指導の充実並びに重症化予防対策等による医療費の削減に努めてまいります。

#### **(4) 後期高齢者医療制度について**

後期高齢者医療制度については、運営主体である長崎県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、被保険者が適切な医療サービスを受けられるよう努めております。

保険料については、長崎県後期高齢者医療広域連合において2年ごとに見直しを行うこととなっており、令和6年度は改定の年となります。今回の改定では、被保険者の増加とともに、1人当たりの医療費が増加することによる医療給付費の増加等により、所得割率、均等割額及び賦課限度額が引き上げられます。

被保険者の皆様には、ご負担をおかけすることとなりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

#### **(5) 介護保険について**

介護保険については、令和6年度は、第9期介護保険事業計画の初年度となることから、壱岐市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定並びに壱岐市介護保険条例の一部改正について、今回、議案を提出しております。

本計画では、壱岐市の将来を見据え、地域の高齢者福祉施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和6年度から8年度までの3年

間を計画期間として、介護保険制度の基本となる介護サービスの見込量等を定めて介護保険料を算定した結果、第1号被保険者保険料の基準額については、第8期と同額の月額6,490円となっております。

## 5. 教育

### (1) いきっこ留学制度について

いきっこ留学制度は、留学生が年々増加し、令和5年度は延べ46名の留学生を受け入れております。

本年4月からのいきっこ留学生は、里親留学（2件）2名（小学生2名）、親子留学（2件）2名（小学生2名）の計4名が新たな留学生として入市いたしますので、現在、留学中の児童生徒のうち、継続される24名（里親留学8名・孫戻し留学4名・親子留学12名）を加えると28名の予定となっております。

いきっこ留学制度については、昨年9月に第1回壱岐市いきっこ留学制度運営委員会を開催し、制度の改善策を提示し運営してまいりました。去る2月16日、第3回壱岐市いきっこ留学制度運営委員会を開催し、協議した改善策の4つの大項目について検証等を行いました。

委員会では、令和5年度壱岐市いきっこ留学制度改善事項の検証、いきっこ留学コーディネーターの活動報告、令和6年度壱岐市いきっこ留学制度の体制について説明を行い、各委員より改善策及びコーディネーターの取組状況などの確認があり、その対応を報告したところです。



今後も引き続き、制度の改善策及びその対策と検証を行い、留学生が安全で安心した留学生活を送れるよう努めるとともに、里親の負担感の軽減を図りながら、いきっこ留学制度が持続可能な制度となるように取り組んでまいります。

## **(2) 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭について**

全国的な文化の祭典である国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「ながさきピース文化祭2025」について、去る1月22日に第2回壱岐市実行委員会総会を開催し、その事業内容等の確認及び承認をいただき、長崎県へ計画書等を提出したところであります。

壱岐市会場での主な事業内容は、島の祭典『壱岐市総合文化祭』、国境の島伝統文化継承展、食・文化交流『酒蔵巡り』ツアー、壱岐市障害者芸術文化祭の4つを軸とした展開を予定しております。

また、令和6年度については、プレ事業を予定しており、今後、市内関係機関、関係団体等の皆様の協力を賜りながら、本大会の成功に向けて、壱岐市の魅力あふれる文化の祭典となるよう進めてまいります。

## **(3) 子どもたちの活躍について**

昨年12月に開催された、「第15回<sup>よねはま</sup>米濱・リンガーハットカップ長崎県ジュニアサッカー大会」において、壱岐少年サッカークラブが見事初優勝を果たしました。来る3月23日から24日にかけて、宮崎市で開催される「JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会九州大会」でのさらなる活躍を期待しております。

## 6. 防災、消防・救急

### (1) 防災対策について

「令和6年能登半島地震」では、津波の襲来、建物の倒壊、大規模火災等、避難生活による災害関連死を含め、241名の方が亡くなり、今なお、9名が安否不明となっております。犠牲となられた方々のご遺族皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災地支援については、石川県からの要請を受け、1月26日から県及び県下各市町職員の派遣が始まっており、本市職員については、第4陣として3月6日から13日まで珠洲市へ2名、第9陣として、3月7日から11日まで石川県庁内の業務に従事するため2名の職員を派遣予定であります。

近年発生している災害は、複雑多様化、大規模化の傾向にあり、いつどこで起こるか予測が困難な状況にあります。市としましては、日頃から防災関係機関との連携強化を図り、災害対策に万全を期してまいりますので、市民皆様におかれましても、自らの身は自ら守る「自助」とともに、まちづくり協議会等の自主防災組織による地域が助け合う「共助」の取組へご理解、ご協力をお願いいたします。

### (2) 消防・救急について

3月1日から7日まで1週間、春季全国火災予防運動が実施されます。この時期は、空気が乾燥し火災が発生しやすくなりますので、市民皆様には、火の取扱いなど十分ご注意願います。また、草木を焼却する場合は、必ず消防署に届出を行い、消火の準備を行うとと

もに、火が消えたことの確認を徹底していただくようお願いいたします。

## 7. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

### (1) 令和6年度予算について

国の令和6年度予算編成にあたっては、足下の物価高に対応しつつ、持続的で構造的な賃上げ、デフレからの完全脱却及び民需主導の持続的な成長の実現に向け、重要な政策課題について必要な予算措置を講じるなど、メリハリの効いた予算編成を行うこととされています。また、地方財政については、社会保障関係費及び人件費の増加が見込まれる中、地方公共団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、こども・子育て政策の強化など様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和5年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策を講じることとされております。

一方、本市の財政状況は、令和4年度末一般会計の市債現在高が251億4,360万円（対前年度比11億5,268万2千円減）、積立金現在高が99億9,851万円（対前年度比7億6,429万4千円増）となっており、令和3年度に策定いたしました「壱岐市財政基盤確立計画」に基づく財政健全化の取組の成果として表れているものと考えておりますが、その財政構造は依然として市税等の

自主財源に乏しく、収入の多くを地方交付税及び国庫支出金に依存している状況に変わりなく、経常収支比率は、91.8%と長引く物価高騰等の影響により高い水準で推移しており、今後も厳しい財政運営が予想されることから、引き続き行財政改革に取り組むとともに将来を見据えた財政運営に努めてまいります。

このような方針に基づいて編成した、令和6年度の一般会計の予算規模は、238億6,500万円（対前年度当初予算比3億2,500万円、1.3%減）、特別会計を含めた予算規模は、318億1,779万円（対前年度当初予算比6億8,993万9千円、2.1%減）となっております。

## **（２）その他の議案について**

本日提出した案件の概要は、条例の一部改正に係る案件10件、計画の策定1件、予算案件14件でございます。何とぞ慎重にご審議をいただき、適正なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

## **8. おわりに**

以上をもちまして、12月会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年2月28日

壱岐市長 白川博一